

日本発の創薬技術・新薬のシンポジウム

第6回 新たな創薬パラダイムの創出

主催：バイオインフォマティクス・ジャパン
システム薬学研究機構

日時：2015年1月9日（金） 13時～17時30分

場所：東京大学医科学研究所1号館講堂

13:00～13:10

「はじめに」

宮城島 利一（東京理科大学薬学部）

13:10～14:00

基調講演「トランスポーターの分子実体の解明と分子標的創薬への応用」

金井 好克（大阪大学大学院医学系研究科生体システム薬理学）

14:00～14:45

「ヒトiPS細胞由来肝細胞の創出と肝毒性・薬物評価系への応用」

水口 裕之（大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野）

14:45～15:05 休憩

15:05～15:50

「抗リウマチ薬イグラチモドの発見と開発の経緯—薬理試験を中心に—」

田中 啓一（富山化学工業(株)総合研究所）

15:50～16:35

「 β_3 アドレナリン受容体作動薬 ミラベグロンの創製」

鈴木 貴之（アステラス製薬(株)創薬化学研究所）

16:35～17:20

「逆転の発想から生まれた、SGLT2阻害薬カナグリフロジン」

野村 純宏（田辺三菱製薬(株)創薬化学第二研究所）

17:20～17:30

「おわりに」

寺田 弘（新潟薬科大学）

参加費：無料

申込先：システム薬学研究機構・事務局

admin_staff@systemspharma.org